



学会・研究会・講演会
などのお知らせ

第3回ノルディックウォーキング・ポールウォーキング全国大会

日程：5月21日(日)

会場：いろは親水公園(埼玉県志木市)ほか

実施コース：2 km, 5 km, 7 km, 10 km, 20 km の全5コース

定員：1000名(先着順)

参加費：事前申し込みは市内1000円、市外1500円(ポールレンタルは別途)。当日申し込みは2000円(市内・市外問わず)。中学生以下および80歳以上500円、未就学児は無料。10名以上の団体で事前申込の場合10%割引

申し込み方法：5月15日(月)までに健康政策課窓口へ直接、または5月8日(月)までに郵便払込取扱票にて申し込み

問い合わせ先：志木市健康福祉部健康政策課健康政策グループ(担当：清水)

☎ 048-473-1111(内線2479)

✉ kenkou-seisaku@city.shiki.lg.jp

日本看護サミット2017

日程：6月6日(火)

会場：幕張メッセ 幕張イベントホール(千葉県千葉市)

テーマ：地域包括ケア時代の看護基礎教育

プログラム：鼎談「看護教育の将来と看護への期待」石田昌宏(参議院議員)、真田弘美(日本看護協会)、ほか1名／解説「看護基礎教育をめぐる現状」井伊久美子(日本看護協会)／パネルディスカッション「看護基礎教育を変えるーWe can change」岩澤和子(厚生労働省医政

局看護課)、鎌田久美子(福岡県すこやか健康事業団福岡国際健診センター)、時本圭子(日本看護学校協議会)、上泉和子(日本看護系大学協議会)、中畑高子(関東中央病院)、川添高志(ケアプロ株式会社)／講演「看護教育におけるこれからの政策課題」坂本すが(日本看護協会)

参加費：事前5000円、当日7000円

申し込み方法：下記URLより

問い合わせ先：日本看護サミット2017運営事務局

✉ kangosummit@nurse.or.jp

URL <http://www.nurse.or.jp/nursing/practice/summit/2017/>

平成29年度全国保健師交流集会

日程：6月8日(木)

会場：東京ベイ幕張ホール2階(千葉県千葉市)

プログラム：平成28年度保健師職能委員会活動報告／平成29年度重点政策・重点事業(保健師関連)、保健師職能委員会活動方針／特別講演「自分ごと・まちごと・社会ごとー人はつながり地域で生きる」長野敏宏(NPO法人ハートinハートなんぐん市場)／シンポジウム「もう一度地区活動ーPDCAサイクルにもとづいた戦略的展開」座長：中板育美(日本看護協会)、①「妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援(仮)」西原洋子(鹿児島県看護協会)、②「地域に責任を持つ保健師活動ー地区担当制を通じた人材育成(仮)」藤本亜由美(大津市健康保険部保健所保健総務課)、③「産業保健からの発信で築く地域職域連携(仮)」菖蒲田裕子(マツダ株式会社安全健康防災推進部健康推進センター)／フロアとの意見交換

参加費：会員無料、非会員1000円

申し込み締切：4月20日(当日受付可)

問い合わせ先：日本看護協会健康政策部保健師課

☎ 03-5778-8844

✉ hokenshi@nurse.or.jp

NPO 法人日本ラクテーション・コンサルタント協会(JALC)主催 第42回母乳育児支援学習会 in 神戸

日程：6月17日(土)、18日(日)

場所：神戸国際展示場2号館コンベンションホール(兵庫県神戸市)

対象：母乳育児を支援する専門家(助産師、看護師、保健師、医師、歯科医師、栄養士、保育士など)以外に、学生、その他母乳育児支援に興味のある方であればどなたでも

プログラム：

[1日目]

母乳育児の最新情報：「母乳育児の健康への効果」瀬川雅史(IBCLC), 「母乳育児の生化学」戸田千(IBCLC), 「育児困難感のあるお母さんと赤ちゃんへの援助」布川まゆみ(IBCLC)

[2日目]

特別な支援の必要なお母さんと赤ちゃん：「精神疾患の既往のあるお母さん」宮貴子(IBCLC), 「母体合併症(妊娠高血圧と妊娠糖尿病)」間瀬徳光(IBCLC), 「母乳育児にあまり積極的でないお母さん」本郷寛子(IBCLC), 「後期早産児とSGA」瀬尾智子(IBCLC)

臨床現場でのホットトピック：「HIVとHTLV-1と母乳育児」水野克己(IBCLC), 「高年初産のお母さんへの援助」渡邊和香(IBCLC)

申し込み方法：詳細は4月以降に下記URLより案内

問い合わせ先：NPO 法人日本ラクテーション・コンサルタント協会

URL <http://jalc-net.jp>

産業保健活動推進のリーダーとしての保健師に必要な能力の強化研修

日程：【前半】7月20日(木)～21日(金)、【後半】11月15日(水)

会場：日本看護協会神戸研修センター(兵庫県神戸市)

対象：次の3点を満たす方。①保健師の免許を有すること、②産業保健師の実務経験10年以上を有すること、③全日程(3日間)集合研修への参加とレポート提出が可能であること

定員：30名(定員となり次第締切)

受講料：会員2万520円、非会員3万888円

主要内容：リーダーとしての産業保健師育成について／多様化する労働の場における産業保健師の役割と実践力の向上について／労働衛生分野における産業保健師への期待／メンタルヘルス対策を見据えた産業保健師活動の推進と産業保健師の役割／実践課題の取り組み

申し込み期間：4月3日(月)～17日(月)

申し込み方法：下記URLより必要事項を入力、または申し込み書を郵送

問い合わせ先：

「申し込みについて」

日本看護協会神戸研修センター総務管理部

☎ 078-230-3250

「研修内容について」

日本看護協会健康政策部保健師課

☎ 03-5778-8844

URL <http://www.nurse.or.jp/>

日本地域看護学会 第20回学術集会

日程：8月5日(土)～6日(日)

会場：別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza(大分県別府市)

テーマ：地域包括ケア時代の地域看護の新展開—一歩前に進んで、つながり、地域ケアを創出する

プログラム：学術集会長講演「地域の未来を支える地域看護学の構築」村嶋幸代(大分県立看護科学大学)／20周年特別講演「新しい地域看護への示唆—米国における地域包括高齢者ケアの実践と研究から」Kathy

Magilvy(コロラド大学)／シンポジウムⅠ「実践者のパワーアップに向けた地域看護の新展開」：①「課題を解決するための地域資源の活用(仮)」岡司和子(大分県国東市国見中学校)、②「『地域ケア』の看護力発揮の心得」佐々木真理子(大分県豊寿苑訪問看護ステーション在宅事業管理部)、③「保健師として地域に責任を持ち、一歩進んで地域資源を創る」堀井とよみ(京都看護大学)、④「地域資源としての大学—大学と実践現場と協働で取り組む保健師現任教育」小野美奈子(宮崎県立看護大学地域看護学)／シンポジウムⅡ「看護基礎教育で地域志向の芽を養う」：①「GIS(地理情報システム)を活用した地域看護診断をとおして(仮)」大河内彩子(横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野)、②「在宅看護学で学ぶ個別ケアのための地域アセスメント」河野あゆみ(大阪市立大学大学院看護学研究科)、③「地域を志向した予防的家庭訪問実習の取り組みとその効果」岩崎りほ(大分県立看護科学大学)、④「日本地域看護学会が提唱する学士課程における地域看護学(仮)」石橋みゆき(千葉大学大学院)／市民公開講座「ゴミ屋敷に住む人々—助けを求めない人々を地域でどう支えるか」岸恵美子(東邦大学看護学部公衆衛生看護学)／教育講演Ⅰ「大分県におけるヘルスプロモーションの実践—健康寿命日本—をめざして」藤内修二(大分県福祉保健部)、Ⅱ「在宅療養支援研究の最前線」永田智子(東京大学大学院医学系研究科地域看護学分野)、Ⅲ「NPの技量を訪問看護に活かす」光根美保(大分県厚生連訪問看護ステーションつるみ)、Ⅳ「地域包括ケアの奔流の中で地域看護職のチカラを視える化する」成瀬昂(東京大学大学院医学系研究科地域看護学分野)／指定集会Ⅰ「災害時の保健活動について—熊本・大分地震への支援を振り返って」川原さおり(益城町健康づくり推進課)、谷昭子(熊本

市健康づくり推進課)、内田弘子(大分県北部保健所地域保健課)、狩野クラ子(宮城県保健福祉部)、Ⅱ「地域包括ケア時代に地域を志向した新しい看護学実習(予防的家庭訪問実習)を経験して」大分県立看護科学大学学部生・同大学の卒業生

参加費：事前：会員9500円、非会員1万円、学生(院生を除く)2000円、当日：会員1万1000円、非会員1万2000円、学生(院生を除く)3000円

事前参加申込締切：6月30日(金)

申し込み方法：日本地域看護学会第20回学術集会用ホームページ(<http://jachn20.umin.jp>)より

問い合わせ先：日本地域看護学会第20回学術集会事務局

〒870-1201 大分県大分市廻栖野2944-9 大分県立看護科学大学看護学部広域看護学講座／地域看護学研究室

✉ jachn2017@gm.oita-nhs.ac.jp

本欄へ掲載を希望する学会・研究会・講習会などのお知らせがありましたら、本誌編集室までお送りください。

〒113-8719

東京都文京区本郷1-28-23

FAX 03-5804-0485

✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp